

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

|                |                      |    |            |
|----------------|----------------------|----|------------|
| ○事業所名          | 多機能型プラットホーム・かもベ(単位1) |    |            |
| ○保護者評価実施期間     | R7年2月17日             |    | ~ R7年2月28日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)               | 14 | (回答者数) 10  |
| ○従業者評価実施期間     | R7年2月17日             |    | ~ R7年3月4日  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)               | 9  | (回答者数) 8   |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R7年3月12日             |    |            |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|---|--|---|
| 1 | 利用児の特性に応じた専門性のある支援<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | * 年齢に応じた発達等の特徴、障がい特性や基礎疾患についてなど、職員の知識向上のための所内勉強会を実施している<br>* 利用児の好き・苦手な分野をスタッフ全員で共有し、支援に生かしている | * 1人に対し、個別的にレファレンスを行い、より充実した支援につなげていく                         |
| 2 | 必要な医療ケアが安全に提供できている                          | * 利用児の1日のスケジュールをスタッフで共有し確認できるボードの作成や服薬等のダブルチェックの徹底<br>* 複数のスタッフで健康状態を確認している                    | * 声出し確認の徹底（特に忙しいときなど抜かりがないか確認する）<br>* 新たな処置やケアが追加された際には勉強会を開く |
| 3 | 保護者と密な情報共有により、共通理解ができている                    | * 連絡帳だけでなく、送迎時に直接、保護者と話し、コミュニケーションを図っている<br>* 保護者から相談があった時には、その内容を多職種で検討し、対処法等を提案している          | * サービス利用中の状態変化や服薬など、気になることがある場合は、その都度こまめに保護者に連絡、確認する          |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 全員そろってのミーティングの時間が取れない                      | * 勤務日・勤務時間が一律でないことや利用前後には送迎があるため、全員が揃うことがない  | * 定期的なミーティングの日を設定<br>* Zoom等の活用で全員参加につなげる                              |
| 2 | 地域で他の子どもと活動する機会がない                         | * 医ケア児が多く、感染予防が優先される<br>* 利用児ごとに経管栄養等、必要な医療ケアの時間が異なるため、時間調整が難しい<br>* 医ケア児が外出する際に、同行する看護職員の確保 | * 他の子どもとの活動は難しいが、日々の活動の中で、散歩や買い物などできるだけ地域に出かけ、地域の方に事業や医療ケア児のことを知ってもらおう |
| 3 |  |  |  |